

中期計画期間中の収支見通しについて

○運営費交付金の状況

(単位：百万円)

年 度	18	19	20	21	22	23	計
交 付 額	9,358	8,864	8,525	8,026	7,920	7,864	50,557
退職手当を除く部分 a	(8,895)	(8,370)	(7,909)	(7,651)	(7,488)	(7,264)	(47,577)
退職手当分	(463)	(494)	(616)	(375)	(432)	(600)	(2,980)
a の前年比	(△607)	△525	△461	△258	△163	△224	△1,631 (△2,238)

運営費交付金の算定には、

- ① 人件費：自己収入充当分を除き、毎年 1 % の削減
- ② 物件費：自己収入充当分を除き、毎年 10 % (21 年度以降は 5 %) の削減
- ③ 附属病院診療収入：毎年 2 % (診療報酬改定年度は 1 %) の増収 (5 年間で 1,170 百万円の増収)

などの経営努力が元々織り込まれており、5 年間で 16 億円余の削減額となっている。
(法人化前の 17 年度と比較すると 22 億円余の削減)

⇒ 利益を計上するには、それ以上の経営努力が必要となる。

○中期計画期間中の収支見通し

(単位：百万円)

年 度	18 決算	19 決算	20	21	22	23	計
経常利益	966	855	394	136	△27	△251	2,073
運営費交付金の削減 (退職手当分を除く)		△525	△461	△258	△163	△224	△1,631

※運営費交付金の削減を反映し、かつ、平成 18 年度、平成 19 年度並みの経営努力を継続した場合の試算。